



Weekly Report



クラブ・スローガン ~協力は大きな成果~ そして楽しもう

— The 60th anniversary —

会長 鈴木真樹
幹事 小林 篤

例会場：割烹「ふな又」 例会日：木曜日（第1・第2・第3）18時00分点鐘
事務所：さいたま市岩槻区本町 3-8-2-203 TEL048-758-0680 FAX048-758-0681
http://www.iwatsuki-rotaryclub.jp Mail:info@iwatsuki-rotaryclub.jp

鈴木真樹年度 第30回 通算 2803 例会 令和5年5月25日

副会長挨拶

副会長 田中芳明

（訪台中の鈴木会長に代わり田中副会長のご挨拶です。）

「皆様こんばんは。

ロータリークラブだけでなく色々な団体で役を受けた時に一番重要なのは役職の名前ではなく、「どう活動するか」だと思います。今日は地区研修・協議会報告の発表ということですが、次年度委員長の皆さんがどのように考え、どのように勉強されて、どのように次年度の活動に落とし込んでいくかということをしつかりと聴かせていただければありがたいなと思っております。」



鈴木真樹会長メッセージ

皆さんこんばんは。また例会に出席されました会員の皆様、ありがとうございます。本日の例会は私が欠席の為、田中副会長宜しくお願いたします。

5月20日の岩槻ロータリークラブ・岩槻高等学校インターアクトクラブ創立60周年記念合同例会お疲れさまでした。昨年より実行委員会を立ち上げ、意見交換をしながら本番当日を迎えました。会員皆様には、色々大変な思いやご苦労をお掛けしました。感謝の気持ちでいっぱいです。良かった点、反省すべき点・考えさせられる思いもあります。

リハーサルでは問題が無かったものの、本番ではパワーポイントの映像が映らない（誰のせいでもなく機械の不具合による）というハプニングもありましたが、無事記念例会を終える事ができました。

2部の講演では、元サッカー日本代表選手の前園真聖氏による「サッカーから学んだ人生」というテーマで講演していただき、幼少期のころからのサッカーに対する思い、そして苦勞・そしてプロへの厳しさを教えていただきました。来場していた子供たちには、これからサッカーとどう向き合い続けて行くか？心に響いたと思います。

懇親会では加倉グランドバスさんの軽快な歌と演奏、ダンスの飛び入り参加もあり、とても楽しい一時となりました。私自身、肩の荷が「少し」下りた感じがしましたが、姉妹クラブ・桃園経国ロータリークラブ22周年のお祝いに行って参りますので、しっかりと会長として努めてまいります。その様子は6月1日の会長挨拶にてお話させていただきますので、よろしくお願いたします。

副幹事報告

関根信行

- 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会からハイライトよねやま 278号が届いております。
 - 大宮西 RC 様、大宮北 RC 様、大宮東 RC 様・大宮北東 RC 様より週報が届いております。
- 以上幹事報告になります。回覧いたしますのでご一読ください。



委員会報告

プログラム・親睦委員会 委員長 三浦宣之

6月15日第3例会は鈴木真樹会長年度の最終例会となります。会長・幹事を中心に1年の労をねぎらい、よりいっそう親睦を深め合いたいと思いますので、会員皆様のご出席をなにとぞよろしくお願い申し上げます。

日時： 6月15日 18時点鐘
場所： ふな又 1階
登録料： 無料



地区研修・協議会報告 2

職業奉仕部会

田畑寛樹

「職業奉仕」という概念

職業奉仕は、「ロータリーの目的」の第2項を土台としており、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- ・職業上の高い倫理基準。
- ・役立つ仕事はすべて価値あるものという認識。
- ・社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を、高潔なものとする。



地区研修・協議会報告 2

- 職業奉仕はどのように実践できるでしょうか。例えば、
- ・ 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う。
 - ・ 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす。
 - ・ 高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す。
 - ・ 若者のキャリア目標を支援する。
 - ・ 専門能力の開発を奨励し、指導する。
- 職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。**

高潔性と倫理

ロータリーでは、高潔性と高い倫理を重視しています。その中でロータリアンによって生みだされたのが、「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の2つであり、職業や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっています。

「四つのテスト」の歴史

「四つのテスト」は、1932年、シカゴ・ロータリークラブ会員で、1954-55年度に国際ロータリー会長を務めたハーバート J. テイラーにより発案されました。倒産寸前の会社を建て直す役目を担ったテイラーは、仕事における全側面において従うべき倫理的指針として「四つのテスト」を創り、このシンプルな哲学のおかげでこの会社は倒産を免れました。

その後、1934年に国際ロータリーで採用されて以来、「四つのテスト」はロータリアンが倫理的行動を判断するための尺度として用いられてきました。

このテストは、多くの言語に翻訳され、世界中でロータリアンにより推進されています。

ロータリアンの行動規範

「ロータリアンの行動規範」は、「四つのテスト」と並び、すべてのロータリアンが事業や専門職において指針とできる、倫理的行動の枠組みとなるものです。ロータリーの職業奉仕では、地域社会のニーズに取り組み、支援を必要とする人たちが自らの力で生活を立てていけるよう支援するために、職業の知識とスキルを活用することが求められます。

スキルと職業

職業とそのスキルの重要性を認識するロータリーには、多様な職業や経験をもつ会員がおり、地域社会のさまざまな職業、ビジネス、団体とのつながりを生かした活動が実践されています。会員には、職業スキルを奉仕に生かし、自らの職業をクラブで代表するとともに、職場においてもロータリーの理念を実践する責務があります。

職場で高い倫理基準を推進するために

事業や専門職務のリーダーであるロータリアンは、職場や地域社会において模範を示し、高い倫理基準を推進することのできる立場にあります。ロータリアンは、次のような方法で倫理を実践し、奨励できます。

- ・ 従業員の雇用、研修、指導において、誠意、責任、公平さ、尊重について説き、その重要性を強調する。
- ・ 仕事仲間による模範的な行動を称え、奨励する。
- ・ 顧客、業者、仕事関係者と接する際は、高い倫理基準を遂

- 行し、思いやりと 熟慮をもって行動する。
- ・ ビジネスや組織において、社会的・環境的に責任ある行動を推進する。

職業研修と職業スキルの向上

職業人同士の交流を目的として設立されたロータリーでは、より良い地域社会を築くために、職業やビジネスにおけるリーダーが力を合わせ、アイデアを交換し、協力関係を築くことの重要性を強調しています。

ロータリー会員は、職業に関するスキル研修とサポートを人々に提供することを通じて、自らの職業スキルの向上にも努めています。

●職業奉仕委員会

- ・ ロータリーの「職業奉仕」を会員にわかりやすく解説する。
- ・ ロータリーの根幹である職業奉仕、その倫理性・道徳性・高潔性の保持推進を奨励。
- ・ 企業の社会貢献、社会的責任、SDGsの理解と実践。

職業奉仕は、ロータリークラブの奉仕活動の根幹と言われる、非常に大切な活動であり仕事との関連性も大きく関わる。

ロータリークラブは、1905年にアメリカのシカゴで4人のメンバーから始まり、現在は全世界で130万人以上のメンバーを擁する国際的な団体。

大変な時代背景もある中でメンバーの1人が自分の「仕事を伸ばしたいのならば儲けを優先するのではなく、職業を通じて社会に奉仕しよう」と説く。

この考え方が職業奉仕の原型となり、「たくさん奉仕する人が、最も報われる」という標語に繋がる。そして、親睦、職業倫理、社会奉仕、国際奉仕と繋がり、根幹と言われ基盤になる理由。職業奉仕はその中でも特に重要視され、クラブやグループの活性化、地区の活性化につながるとされている。

以下地区より。

「職業奉仕」について調べると、長い物語や動画が見つかり、とても難解です。これでは、「職業奉仕は、ロータリーの金看板だ！」と聞いても、その本質は伝わりにくい。そこで、部門では簡単な説明はできないのか！と考え、ロータリー史や多くの解説を要約し次の文章のようにまとめました。

職業奉仕とは、「職業を通じて、人々に奉仕することで、自らをさらなる高みに上げていくこと」。

ロータリーの奉仕活動の中で、職業奉仕の位置づけを現したのが「ロータリーの樹」です。職業奉仕が、全ての奉仕の基礎だということが理解できます。

私は、要約の「人々」と「自ら」をクラブ活動に置き換えてみることにしました。

「職業を通じて、会員に奉仕することで、クラブをさらなる高みに上げていくこと」。

置き換えたことで、新しい発見がありました。

ロータリーでは、職業奉仕が幹を太くし、クラブ奉仕という葉を育て、3つの奉仕と財団の活動が実ること。

職業奉仕の実践こそが、ロータリアンにとって大切な活動の源だということです。



出典：2008年国際協議会 渡辺好政元R | 理事

コロナによって、ロータリーの活動が制限されてしまいました。コロナ禍で活動に疑問を持ってしまったロータリアンの魂を取り戻すことや、新しい会員を勧誘する価値を再確認する必要があると考えました。ロータリーがどうやって始まって、何が特徴で、この先どこに向かっていくのか、「職業奉仕」に立ち帰れば答えが見つかるはずです。

全てのロータリアン皆様に、今こそ「職業奉仕」についてご理解を深めていき、ロータリーの活動に活かしていただきたいのです。そこで地区職業奉仕委員会では、22～25年の3年計画を立てました。

- 職業奉仕について、詳しく解説
- 例会で仲間を知り人脈を作るプログラムを提案
- グループや地区での知り合いを広めてもらうためのイベント開催
- 地区ロータリアンの職業分類データベースを作成

3年計画を通じて職業本仕部門は、クラブ・グループ・地区の活性化に繋がるお手伝いができますよう活動してまいりますので、どうぞご協力とご支援をお願い申し上げます。

職業奉仕は、会員が自身の職業を通して社会貢献して、クラブ、グループ、地区及び地域、国際社会の活性化や発展に貢献することであり、親睦、職業倫理、社会奉仕、国際奉仕などのロータリーの根幹的な活動の一つである。

国際奉仕部会

田畑寛樹

グローバル化と情報化社会にあつて、益々国際奉仕は身近なものとなります。

混沌とした世界情勢下において、ロータリーの目的第4項として、奉仕の理念で結ばれた職業人である私たちは、次の通り推進することを求められています。

- ・世界的ネットワークを通じて。
- ・国際理解、親善、平和を（推進する）。

●国際奉仕委員会

- ・クラブに対し国際奉仕プロジェクトの情報提供や支援をする。
- ・クラブの国際奉仕事業の情報をまとめ、一覧として情報を提供する。
- ・財団部門と協力して、グローバル補助金・地区補助金の有効活用へ情報提供する。

●国際交流委員会

- ・クラブに対し国際大会の重要性について説明し、登録と出席の奨励をしていく。
- ・クラブの海外の姉妹及び友好クラブとの活動状況をまとめ情報提供する。
- ・韓国 3750 地区との交流の推進。
- ・台湾 3490 地区との友好地区推進の継続。

奉仕の第4部門である国際奉仕は、①書物などを読むことや通信を通じて、②他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動、③プロジェクトに協力すること、④他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことで、**国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものです。**ポリオ・プラスへの貢献から、青少年交換生の派遣国での異文化適応の支援まで、さまざまな活動がこれに当てはまります。

国際奉仕は、概念上、次のような4つの一般的分野に分類できます。

- ・リソースとサポートのプログラム
- ・国際レベルの教育および文化交流活動
- ・特別月間と催し
- ・国際的な会合

個々のロータリアンとロータリークラブの責務等については、最新手続要覧の「国際奉仕」に従い、ロータリークラブが存在する国家間の関係が緊迫している場合には、悪意や誤解を増すことがないように、関係する全てのクラブは、細心の注意を払わなければなりません。また、ロータリーの世界中の会員はさまざまな政治的見解を持つ個人であるため、国際ロータリーは、政治的テーマに関していかなる行動や意見の表明も行いません。ただし、いかなる国または地域においても、ロータリーの健全な発展のためには、言論の自由と結社の自由が不可欠です。

国際プロジェクト

1. 災害救援および復興

ロータリアンにはこれまで災害による被災者の救援に取り組んできた長い歴史があります。地元クラブと地区の協力の下、ロータリアンは救援基金に寄付を行い、当座のニーズに応える緊急物資を送るほか、長期的な災害復興においても継続して援助を提供します。

2. ロータリー友情交換 (RFE)

友情交換とは、ロータリアンやその家族のための国際交換プログラムで、それを通じ参加者が海外のロータリアンの家庭に滞在することで、異文化を経験する機会を提供するものです。

3. 世界ネットワーク活動グループ (Global Networking Groups)

世界ネットワーク活動グループは、共通の関心事項を中心として集まった世界各国からのロータリアンによるグループです。

- ・世界ネットワーク活動グループでは、何千ものロータリアンと親睦と友好を深め合うことができます。
- ・同じ趣味、関心、職業を持つ大勢のロータリアンとの出会いの機会があります。
- ・特定分野の奉仕活動に専念する世界中のロータリアンと協力し合うことができます。

世界ネットワーク活動グループには、ロータリー親睦活動グループと、ロータリアン行動グループの2種類があります。

① ロータリー親睦活動 (RF)

ロータリー親睦活動は、国際親睦、親善、奉仕を推進する手段として、レクリエーション活動や職業上の関心事項をはじめ、保健医療の問題、特定の人道的プロジェクトにいたるまで、さまざまな関心分野に及んでいます。

② ロータリアン行動グループ

ロータリアン行動グループは、「ロータリーの目的」を推進する実地参加型の国際的な奉仕プロジェクトを実施している特定の分野の奉仕活動に関する専門知識を持った熱意あるロータリアンとその配偶者ならびにローターアクターによって結成されたグループです。

ロータリーの目的の第4項は、「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」。これは、ロータリアンが地域的な問題だけでなく、国際的な問題にも取り組むことを意味する。

国際奉仕委員会は、国際的なプロジェクトでのボランティア活動、海外のパートナーと協同プロジェクトを通して相互理解と平和を推進する役割を担う。そのためクラブは国際奉仕委員会、海外のパートナーと協力して世界中で有益な活動を行うことができる。

国際交流委員会は、姉妹クラブを推奨しており、海外のクラブとの緊密な友好関係を築くことができる。このような関係を築くことで、両国のクラブは相手国や第3国で国際奉仕プロジェクトに取り組む機会を得ることができる。また、異文化コミュニケーションの体験を通して、ロータリアンは国際的な視点を持ち、自身を国と国をつなぐ架け橋とすることができる。その架け橋が職業奉仕や地域社会奉仕に発展させることができる。

友好地区との交流、日韓親善会議や日台親善会議の歴史や交流方法など、多様な内容を提供している。

国際大会は、世界中からロータリアンが集まり、アイデアや文化を交換し、ロータリーの理念を共有する貴重な機会である。

最終的には国際奉仕に参加して、広く社会へ貢献することが大切。このような活動を通して、地域と国際社会での活動の循環や相互理解と平和を促進し、ロータリーの目的を実現することができる。



青少年奉仕部会

岡野育広

国際ロータリー第2770地区、地区研修・協議会が2023年4月14日(金)にソニックシティで開催され、分科会は青少年奉仕部会に出席をいたしました。



最初に、大貫 等アドバイザー次年度担当諮問委員より基調スピーチがございました。基調スピーチの中に青少年奉仕の始まりについてのお話がありますのでご紹介させていただきます。

ロータリーの青少年奉仕の始まりは、素行の悪い子弟を持つロータリアンが何とか改心させる方法はないのかと親しいロータリアンに相談したところ、しばらく我が家で面倒をみようということになり、そのことにより更生させることに成功したことからロータリーに取り入れられ、このプログラムがスタートしたといわれています。時に1927年だそうです。

このことを皮切りに、青少年非行防止の啓蒙活動を行ったり、時にはボーイスカウトと共に地域のボランティア活動を行ったりしている中で、インターアクトやローターアクトが生まれてきたとのことです。そして後年ライラ(ロータリー青少年指導育成プログラム)等も青少年の育成プログラムの一環として取り入れられました。

このようにして青少年奉仕は、ロータリーの奉仕の理念に基づいて青少年の個人の能力を育成させ確立を促し、寛容な心、健全な心、社会貢献する精神を培い育み、彼らに好ましい変化となるよう導く素晴らしいプログラムです。

とお話があり、その後、各次年度委員長から次年度へ向けての委員会の活動説明と協力要請がありました。

岩槻ロータリークラブとしては、岩槻高等学校インターアクトクラブとの合同奉仕活動や支援、協力を積み重ねてクラブの活性化にチャレンジして行ければと思います。

ロータリー財団部会

三浦宣之

小林 操ロータリー財団委員長は、「ロータリーの名のもとに行われている重要なプロジェクトの大半はロータリー財団の支援を受けています。もちろん、ポリオ根絶活動はロータリーの中心的な活動ですが、その他にも地区補助金やグローバル補助金による素晴らしい活動や、ロータリー平和センター、大規模プログラム補助金、パートナーとの協力を通じて、世界をより良くするための活動が行われていることを考えてください。これらはロータリー財団からの支援により実現されるものです。」とおっしゃっております。



ロータリー財団は6つの委員会構成されています。

1. 「ポリオ・プラス委員会」

ロータリーの最優先事項である世界ポリオ根絶活動について広く理解を深めて頂き、寄付への協力を依頼し、更にはクラブに対してポリオ根絶運動の活動、イベントの実施や協力の依頼及び募金活動促進をする委員会

- 2、「補助金・V T T委員会」
 - ・補助金に関する情報の提供
 - ・補助金原子の配分
 - ・グローバル補助金活用の奨励
 - ・職業研修チーム（V T T）支援に関する啓蒙
- 3、「地区補助金運営委員会」
 - ・地区補助金の理解を深め申請の窓口となる委員会
- 4、「財団奨学・平和フェロー・学友委員会」
 - ・財団の補助金を使い、財団奨学生の募集、選抜、研修、派遣受け入れクラブ及びカウンセラーの発掘、ロータリー平和フェローの学生とカウンセラーの支援を推進し、それらを終了し財団の学友となった方の管理を行う
- 5、「資金推進委員会」
 - ・ロータリー財団への理解を深めていただくことで資金となる寄付を集める委員会
- 6、「資金管理委員会」
 - ・財団の補助金に関して財務資金管理を行う委員会

ロータリー財団は地域社会、そして世界に役立っています。そして、これらのプロジェクトの資金は会員の寄付によって支えられていますので、積極的な寄付をして頂けたらと思います。

社会奉仕部会

関根信行

社会奉仕部門委員長は横田 松博（清和中 RC）です。
今まで二つに分かれていた地域社会奉仕委員会とブライダル委員会がひとつになり地域社会奉仕・ブライダル委員会となりました。
キーワードは「繋ぐ・紡ぐ・楽しむ」です。



地域社会奉仕は、ロータリークラブの原点ともいえるべき奉仕活動です。
当委員会は次年度 RI 会長が提唱する「世界に希望を生み出そう」の精神のもとに行動します。

2770 地区で行われている様々な地域社会本仕活動にスポットライトをあて情報を明確化し、各クラブが新しい奉仕活動を始めるきっかけや機会になるよう働きかけます。
また昨年度の「グループ奉仕事業」で培った経験を進化させ、グループ内だけでなく地区内への共同奉仕事業の推進を応援します。

1 クラブの奉仕活動を地区内のクラブや会員が協力し手を繋ぎ、大きな奉仕活動になるよう心を紡ぎ、与えられる「楽しみ」ではなく自分自身の気持ちで能動的なたのしい姿「楽しむ」を形にします。

また「賢アイバンク支援事業」と「ピンクリボン運動」も継続して活動してまいります。

ブライダル委員会では、「結婚」という成果を出すべく活動します。引き続き74クラブの奉仕活動及び未婚の男女を応援する応援団として適進してまいります。
各クラブ様のご協力を宜しくお願い致しますとの事でした。

《委員会活動計画》

1. 2770 地区各ロータリークラブで行われている社会奉仕事業への応援と協力
 - ①新要素「環境問題」をテーマにした新規奉仕活動の情報発信
 - ②ロータリー財団地区補助金を活用した社会奉仕事業への支援と啓蒙活動
 - ③複数クラブでの奉仕事業の創立と連携応援
2. 公益財団法人 埼玉県腎・アイバンク協会へ活動への啓蒙と登録推進
3. 乳がん検診普及活動「ピンクリボン運動」の促進と普及
4. 自然災害発生時における義援金募金活動と支援体制の確率
5. ブライダルイベントの計画と実施
6. 各クラブ社会奉仕委員長ブライダルサポーター制の推進
7. 他部門、他団体との連携の強化

以上、ポイントについてお話をさせていただきました。ありがとうございました。

米山記念奨学部会

関根信行

米山記念奨学部会では、浅水 尚伸バスターガバナー（越谷南 RC）を担当顧問、新井 登志 部門委員長（上尾西 RC）、小林 達郎 増進委員長（幸手中央 RC）、米山記念奨学増進委員会 7 名、小川 和義 選考委員長（鴻巣 RC）、米山記念奨学学友選考委員会 7 名、合計 15 名で一年間活動を行います。

～米山記念奨学事業の使命～

将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。これは、ロータリーの目指す『平和と国際理解の推進』そのものです。

ロータリー米山記念奨学事業は、「日本ロータリーの父」と言われている故・米山梅吉（東京 RC 創設者）の功績・偉業を記念して、米山氏の没後の 1952 年、東京ロータリークラブが「海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業の構想」を立案し単独事業としてスタート。

1957 年に全国の地区共同事業へと発展。1967 年文部省認可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立され、2012 年 1 月 4 日に公益財団法人となりました。

米山基金創設から約 70 年の歴史を持ち、RI に認められた世界に例を見ない日本のロータリー独自の 34 地区による「多地区合同奉仕活動」となっています。

特徴 1：日本最大の民間奨学事業

奨学生採用数は全国で年間約 898 名、年間事業費 14 億円、累計奨学生数 22,875 人（出身国 129 の国と地域）の優秀な

人材が日本への感謝とロータリー精神を胸に刻み世界各地で活躍しています。(※2022年7月現在)

特徴2：世話クラブ・カウンセラー制度

経済的な支援と人づくり、奨学生には「世話クラブ」が選ばれ、ロータリアンとの深い交流と精神的なケアが行われ、ロータリーの理念等を理解してもらいます。

◎学友会：奨学生の同窓会にあたる組織。日本に33、海外には9計42の学友会があります。現在、学友が中心となって創立されたロータリークラブが日本に3クラブ、台湾に2クラブあります。

- ① 世話クラブ選考の基準となる期間は選考年度を含む過去2年半です。
当該年度の会長の米山寄付増進の努力を当該年度の世話クラブ選考に反映すべく、選考年度を含む過去2年半に致しました。
7月から始まる上半期(12月31日まで)に寄付を集中させるクラブが当該年度の世話クラブ選考では有利になります。
- ② 10月と3月は、米山月間です。米山記念奨学生を卓話にお招きください。
- ③ 奨学生に対する卓話依頼・通訳依頼・行事参加要請は、地区米山委員会(部門委員長または増進委員長)にご連絡ください。
- ④ ハラスメントの発生にご配慮ください。
・米山記念奨学生は、お席にご一緒させていただく機会も多くなっています。セクハラ、宗教上の飲酒(みりん含む)、食べられないもの、異性との握手や接触、写真撮影が禁じられている奨学生もおりますので、奨学生からよく話をお問頂くようお願い致します。

以上、ポイントをお話させていただきました。ありがとうございました。



国際ロータリー第2770地区のオフィシャルサイトに5月20日開催しました岩槻RC創立60周年記念合同例会の様子が紹介されております。



「2770」で検索し、スクロールで「●クラブの活動案内」をご覧ください。

スマイルBOXより

- 岡野育広 本日はよろしくお祈いします。
- 小田光司 宜しくお祈いします。
- 鈴木 隆 宜しくお祈いします。
- 関根信行 よろしくお祈いします。
- 田中芳明 鈴木会長の代理をさせていただきます。緊張しています。宜しくお祈い致します。
- 田畑寛樹 皆様こんばんは。本日は地区研修・協議会報告報告をさせていただきます。本日も何卒宜しくお祈い申し上げます。
- 中村 正 地区研修・協議会報告報告宜しく！
- 三浦宣之 地区研修・協議会報告よろしくお祈いします。

🌸 たくさんのご芳志ありがとうございました 🌸



出席報告				
会員数	出席数	免除者	MU	出席率
25	8		5	52.00%

スマイル報告	
本日のスマイル合計	12,000円
年間累計額	556,000円